

9月1日南館オープン

化学療法センターリニューアルオープン

化学療法センター リニューアルオープンのご挨拶

外来化学療法の患者数は増加傾向が続いており、南館の化学療法センターがオープンするまでは、患者さんの待ち時間が3時間以上の状況がしばしば発生していました。近年の化学療法の進歩および新薬の開発により、今後さらに化学療法を受ける患者さんが増加することが予想されます。

この状況を改善するために、今年9月、化学療法センターがオープンしました。新たにオープンしたセンターでは、ベッド数を30床に増床、勤務する看護師も最大8名に増員し、より多くの患者さんへの対応が可能となり、待ち時間の短縮が期待されています。新たな療養環境では以前の化学療法室よりも1床あたりに広いスペースを設けており、プライバシーも確保されています。天井は今まで人気があった青空をイメージしたものとなっています。また、南館の周囲の景色が窓越しに見渡せるような環境になっているため、化学療法を受ける患者さんのアメニティ向上が期待できます。



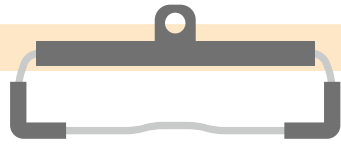
化学療法センター長
外科医長

古川 潤二 医師

ふるかわ・じゅんじ
千葉県出身。
当院には2005年入職。
できるだけ患者さんに分かりやすい言葉で説明することを心がけているそうです。
趣味は映画観賞。

化学療法は副作用が強い治療であり、安全性を確保するために薬剤師が確実に予定されている量の抗がん剤を調製し、間違いなく患者さんに投与されることが非常に重要です。薬剤師が抗がん剤の調製をする場所もセンター内に併設されたことにより、調製された抗がん剤が速やかに患者さんのもとに届くようになりました。化学療法センターでは、薬剤師から化学療法の内容および予想される副作用と、それに対する予防策の説明を受けることができ、患者さんは安心して治療を受けることができるようになっています。

化学療法センターのオープンにより、多くの化学療法を受ける患者さんが安心してゆったりとした気分で治療に専念していただけるよう、スタッフ一同で頑張りますのでよろしくお願いいたします。



より良い環境で、良質なサービスを提供します

化学療法センターの新機能とは？

CHECK 1



ベッド数が増えました（リクライニングチェアを含む）

16床 → 30床

ベッドの他、新たにリクライニングチェアを導入し、30床となりました。

CHECK 2



患者さんの感想を活かしてアメニティを整えました

長時間にわたる化学療法を少しでも心地よい環境で過ごしていただけるよう、アメニティを整えました。青空をイメージした天井、各ベッドおよびリクライニングチェアには液晶画面を備え、室内全体にはBGMが流れています。

CHECK 3



情報コーナーをご活用ください

がんの治療や化学療法に関する情報誌、副作用対策に関するケア用品やパンフレットなどを準備し、より多くの情報をお届けしてまいります。また、パソコンを設置しており、がんの治療に関する情報を検索（閲覧）していただくことができますのでご活用ください。

CHECK 4



オストメイト（人工肛門、人工膀胱保有者）対応トイレを設置しました

オストメイト対応トイレには、ストーマケアをする際に便利なシャワーが備わっており、手荷物を置けるスペースもあります。化学療法センター内にございますので、治療中でも安心してご使用いただけます。

CHECK 5



ラウンジをご利用ください

患者さんが治療を受けている間、付き添いの方が安心してお待ちいただけるよう待機スペースとしてラウンジをご用意しております。また、治療後の患者さんが休憩する場合にもご利用いただけます。

がん化学療法看護認定看護師

花田 留美子

はなだ・るみこ
秋田県出身。
がんと向き合う患者さんの治療に臨む思いを大切に、それぞれの患者さんの立場に立った看護の提供を心がけているそうです。

化学療法を受ける患者さんが、ゆったりと気持ちがあらぐ環境で治療を受けることができるよう取り組んでまいります。

